

2017年7月30日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌480番「輝く日を仰ぐとき」
(ほめよイエスのみ名を)(栄光から栄光へと)

主の祈り

聖 書 ①マタイによる福音書 16章13～20節(p.26)

②マタイによる福音書 5章27～48節(p.6)

音 楽 池田 宏里兄

証 詞 広山 祐子姉(ナオミ会)

メッセージ ①「人間であることの歓喜」 坪井永城副牧師

②「あなたの敵を愛しなさい」

大塚信頼牧師

賛 美 「歌いつつ歩まん」(498番・献金)

頌 栄 「それ神は」(700番) アーメン

祝 禱

「天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、
正しい者にも正しくない者にも、

雨を降らして下さるからである。」

(マタイ五の四十五)

【町田ニュース】

- ・ 月末なので**国際飢餓対策の募金**を集めます。前の箱へ。
- ・ 本日、東京カルバリーチャペルがあります。午後5時、西新宿ハイアット・リージェンシー地下「平安」の間で。子ども集会もあります。
- ・ 今週の祈禱会は、水曜、木曜が**大川牧師のスペシャル**。金曜は坪井副牧師(Y)。
- ・ 土曜日、通常通り午後4時半より**祈り会**。祈りは力です。
- ・ 今年も半年守られたことを感謝し、上半期感謝献金を捧げましょう。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



畑の中の宝物

日本で愛され、尊敬されてきたキリスト者「日野原重明」先生が主の御元に召されました。享年105才。7月18日午前6時33分。死因は呼吸不全。天国へ移る望みを持ちつつ、最後まで若さを保ち、人のため挑戦され続けた人生。医者として、人間として、キリスト者として、高齢化時代において、いかに生きたらよいか、まさに「生き方上手」、素晴らしいお手本を示して下さいました。

日野原先生は1911年山口県生まれ。4才の時、お父様が神戸の栄光教会の牧師として着任するため、家族で神戸に移転。10歳で洗礼を受けました。急性腎炎になり、医者に1年間運動を止められた中、母の助言でピアノを習い始めました。(マイナスはプラスになる)

中学はミッションスクールの関西学院へ。21歳、京都帝国大学医学部に入学。肺結核になり、父のいた広島で療養。ビクターの蓄音機で音楽を聴きながら五線譜を書くことを覚え、半年過ぎると作曲もできるようになりました。

30歳。聖路加に内科医として就職。同じ年、戦争が始まりましたが、結核を持っていたため兵役がなく、戦時中も終戦まで聖路加病院を守られました。

59歳。福岡での内科学会に出席するために乗ったJAL便で赤軍による「よど号ハイジャック事件」に遭遇、命が守られました。「これからの僕は与えられた命に感謝して、誰かのために奉仕する」と献身され、第二の人生が始まります。

その後、マルティン・ブーバー(オーストリアの宗教哲学者)の言葉「人は新しいことを始めることを忘れない限り、いつまでも若い。」との言葉と出会います。

医者として全人格的な健康への提言をされました。淀橋教会でのベー・チェ Cholさんとのコンサートでは、**長寿の秘訣**を聞かれ、「**神様を信じること。神様を信じてるとストレスがなくなる。ストレスフリー、しわがなくなる**」。また、「**赦すこと。赦すことは主の祈りの大事な部分。赦すと自分も楽になる。赦すとは時間を人のために使うこと**」と答えられました。40歳の体重をキープするよう栄養管理すること、スクワットするなど大事なこととして教えられました。

先生、ありがとうございました。全ての栄光は主のもの！心から感謝します！

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょ。

Aコース:使徒28章～ローマ6章

Bコース:詩篇59篇～77篇